

桐生西ロータリークラブ週報

2009-10年度RIテーマ

ジョン・ケニーRI会長 ロータリーの未来はあなたの手に



例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi
 会長 下井田秀一 クラブ会報・雑誌委員長 松原 豊
 幹事 向田 靖 委員 井本上輔・正田恵一

No. 1768

2010年6月4日発行



第1878例会 (2010・5・28) 報告

曹洞宗 大慈山 光明寺

早朝坐禅例会

点鐘 午前6時30分、出席者31名



縁起凡そ1270年前と伝えられる名刹『光明寺』において早朝坐禅例会を行いました。

当日は快晴、且つ程良い寒気の中、千手観世音菩薩をご本尊に祀られている本堂に集合し、例会終了後、坪井良行住職に坐禅の手ほどきを戴いて、3つの鐘を合図に坐禅を約20分行いました。

その後、庫裡に場を移し、『五観の偈』を全員で唱和した後、薪で炊いた絶品のお粥と特製の厚揚げの煮物やお漬け物を美味しくいただきました。

清々しい朝の始まりで、十二分に鋭気を養い、活力ある一日が送れたことと思います。

坪井住職始め光明寺の皆様、お世話になりました。



例会司会進行向田幹事



御仏に捧げるように下井田会長点鐘



イランの米山奨学生アクラム君も参加



坪井住職と親睦委員に感謝の言葉



『平常心』を説かれる住職



まずは準備体操で身体をほぐします



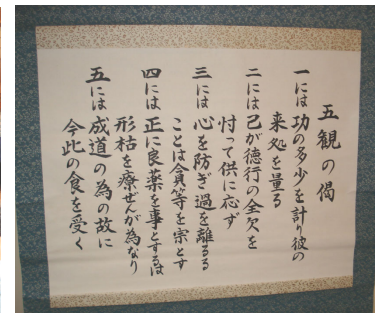
坪井住職がお手本を示して



3つの鐘の音で坐禅開始



雑念が湧いてきたら四つ折らず放すこの繰返



坐禅の後に『般若心経』を唱えて終了。その後、本堂から庫裡に移動し『五観の偈』を唱和して朝粥を頂戴し、解散となりました。

会 員 卓 話



(5月21日第1877例会)

松原 豊 君
(産業廃棄物処理業)

「私の仕事に関連する税金について」

人会以来これで2度目の会員卓話でございます。今回は仕事に関連の在る税金の話で少しの間お付き合い願えればと思います。

天候不順今年ですが、本日は将に初夏を通り越して真夏の気温です。又、来週は寒くなるやに聞いております。単身赴任の私としてはこまめに服装調節をしながら、先日頂きました健康診断の結果に出てきております、ここ十年来の単身赴任の弊害といえますかツケをオオゴトにしないように気をつけて参りたいと思っております。

この天候不順、年毎に平均気温は上がったたり下がったりの繰り返しなわけですが、周期を少し長くしてみますと気温は上がる傾向にあるのは間違いないようです。

最近温室効果ガスという言葉をよく耳にされると思われます。これは地表に降り注いだ日光の熱、或いは生物が発散した熱、自動車、鉄道、飛行機等交通機関が放出した熱、そして企業が生産活動で放出した熱等々が、赤外線として宇宙空間に放出されることによって、地表の温度が、まあ人間が住める、生活できる、適温に保たれる、地球環境というのはそういうシステムになっているわけです。然し、その放出を妨げるガスが最近大気中に多くなってきております。二酸化炭素が代表的に言われておりますが、実は沢山の温室効果ガスがあります。フロンガス的一种、トリフルオロメタンなどは実に二酸化炭素の11,700倍の温室効果があるといわれています。何れにしても人間が生産活動、或いは単に生きているだけでこのガスが増える傾向にあり、これを分解する機能より上回っている。これが地球温暖化の原因であるとする説が有力なわけです。有力であるという言い方は、これに反対の学説も有るためですが、その議論はさておいて、この種類のガスに対する対策に必要なお金を確保する為に、各国で導入が進んでいるのが『環境税』です。

又、特に温室効果ガスが多く炭素を成分として含むことから、少し範囲を絞って、温室効果ガス対策に使われるお金を集める為の税金を『炭素税』とも呼んでいるようです。民主党政権はこの内容としては炭素税である環境税を法制化する方針で、来年度法律施行の準備を進めています。課税方法としては原油、石炭、石油製品など化石燃料の輸入時に一律に徴収する方向のようです。従って石油製品とか製造工程で石炭を使用する製品、例えば鋼鉄などの製品価格に転嫁されることになりそうです。その代わりといっはなんですが、軽油や重油にかかってくる税金の一部が軽減される案が示されています。

私の会社が販売している再生油は、元々の新油に課税されることとなりますので、環境省では配慮する気はないようですが、環境税そのものが二酸化炭素対策の目的税だとすれば、我われは本来焼却されて二酸化炭素になるところを回収してリサイクルし、その分排出量を減らしているわけですから、インセンティブとして少し税金をおまけしてくれても良いような気がするのですが.....

この他、キャップアンドトレードと呼ばれる、温室効果ガス排出量を各排出元ごとに、多分過去の実績に応じて決めて、その量を国の政策に合わせる形でジリジリと減らすことを義務付け、減らし方が足りない、即ち排出量削減努力が足りない排出者にはペナルティーとして、規定以上に削減をして充分実績を上げた排出者からその

枠をお金で購入する制度が、今環境省のホームページのパブリックコメント募集にかかっています。お役所はご存知の通り一端パブコメに出せば余程のことが無い限り、即ち政権が変わるようなことが無い限り変えませんので、これも何れ実施されると思います。

何れも日本の産業にとっては大きな負荷になることは間違いありません。例えば日本の十数倍も温室効果ガスを排出しているアメリカや、今後ドンドン量が増える中国が、規制しようとする国際協定に調印していない状況から、この様な政策を進めることは個人的には如何なものかと考えております。中国からは偏西風に乗って黄砂や酸性雨、温室効果ガスも飛んでくるわけです。

さて、今中国の産業に元気が無くなれると日本の産業界も困る。加工貿易で生きていく業種はどうしたら良いのか、思い悩むことの多い今日この頃です。

つい愚痴のようなことを申し上げ、申し訳ありません。ご静聴ありがとうございました。

2010-11片貝年度 クラブ協議会・情報集会 開催

残すところ1ヶ月程で新年度を迎えるにあたり、片貝年度のクラブ協議会が5月18日(火)に、情報集会が25日(火)26日(水)の2日間に亘り、午後6時30分から桐生プリオパレスで開催されました。

クラブ協議会では、片貝次期会長より、RIテーマや地区重点目標の説明、それに基づいてクラブ活動方針並びに数値目標が詳細に発表されました。

また、情報集会では、前年度各委員長からの引継、並びに各委員会毎に委員長を中心にして活動方針・計画が熱心に話し合われました。

両会とも会議の後、懇親会を行い、更なる会員間の親睦を深めました。



あすかセリモ株

代表取締役 正田 恵一

みどり市笠懸町阿左美3348-20

TEL 0277-76-0222

(有)メディアグロース

代表取締役 高森 勉

みどり市笠懸町西鹿田326-4

TEL 0277-46-7611

《次例会予告》

6月11日(金) クラブフォーラム

6月の出席100%表彰・誕生・結婚祝い